

## 大型車の長期的な低炭素化に向けた勉強会

## ヒアリング

**1. ヒアリング趣旨**

地球温暖化対策計画に掲げられた2050年における長期目標（温室効果ガス排出量80%減）を見据えつつ、2030年度における中期目標（2013年度比同26%減）の着実な達成が求められている。

これを踏まえ、2030年、2050年における次世代大型車の普及動向を検討し、普及促進に向けた課題を把握するためヒアリングを実施する。

**2. ヒアリングの概要**

## ○ヒアリング時期

11月～12月

## ○ヒアリング対象

- ・次世代大型車の開発に係る課題については、大型車メーカー4社を想定。
- ・利活用に係る課題については、既に電動車を導入している運送事業者（バス・トラックそれぞれ数社）にヒアリングを想定。

## ○ヒアリング項目（大型車メーカー）

- 1) 中期計画等の将来戦略
- 2) 今後の国内外における販売計画
- 3) 2025年度燃費基準達成への取組
- 4) 電動化を想定する車両重量区分、用途、航続距離、それらの開発・普及目標
- 5) 行政に期待すること

## ○ヒアリング項目（運送事業者）

- 1) 電動車（EV、PHV、FCV）を導入した理由
- 2) 運用時における、ディーゼル車よりも優れている点、劣っている点
- 3) 更なる導入に係る計画や課題
- 4) 電動車導入以外の二酸化炭素削減に係る取組
- 5) 行政に期待すること